

## 令和5年度 事業報告

### 《 法 人 》

#### 1 重要な決議事項の経過

##### (1) 理事会・評議員会

令和5年 6月 2日(金) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 定時評議員会の招集について

令和4年度 事業報告及び収支決算について  
監査報告

令和5年度 1次補正収支予算について  
理事及び監事の選任について

令和5年 6月21日(水) 定時評議員会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 令和4年度 事業報告及び収支決算について  
監査報告

令和5年度 1次補正収支予算について  
理事及び監事の選任について

令和5年 6月21日(水) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 理事長の選出について

常務理事の選出について  
理事の業務分担について

令和5年12月1日(金) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 職務規程の一部改正について

一般職群職員取扱要綱の一部改正について

臨時職員取扱要綱の一部改正について

継続雇用嘱託職員取扱要綱の一部改正について

令和6年 3月 8日(金) 理事会

場 所 みずほの里 大会議室

協議事項 評議員会の招集について

令和5年度2次補正収支予算について  
令和6年度 事業計画について  
令和6年度 収支予算について  
役員等賠償責任保険契約締結の承認について  
給与規程の一部改正について  
退職金支給要綱の一部改正について  
経理規程の一部改正について  
職員被服貸与規程の一部改正について  
評議員候補者の推薦について

令和6年 3月21日(水) 評議員会  
場 所 みずほの里 大会議室  
協議事項 令和5年度2次補正収支予算について  
令和6年度 事業計画について  
令和6年度 収支予算について

(2) 評議員選任・解任委員会

令和6年 3月11日(月) 評議員選任解任委員会  
場 所 みずほの里 理事長室  
協議事項 評議員の選出について

(3) 経営会議(月1回:計12回)

理事等職務権限規程が定める理事担当業務の進捗管理、法人経営状況(収入管理、サービス管理等)に関する協議を実施

2 事業運営上生じた重要案件

運営上生じた重要案件はございません

3 監事監査、法人一般指導監査及び運営指導等における指摘事項

- (1) 内部監査 10/5, 6 (業務)
- (2) 監事監査 5/19, 22 (会計・業務監査)
- (3) 法人監査 11/8 (社会福祉法人一般指導監査)
- (4) 運営指導 みずほの里(特養・短期 1/18、認知症デイ 10/30)

4 その他役員会等から報告を求められた事項

報告等の請求はございません

## 5 法人事業報告

### (1) 経営基盤の安定

法人全体の事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響で介護サービスの稼働が減少、サービス活動収益計（事業収入）は当初予算比99.1%となった。

在宅部門では感染症の影響による利用控え等があり、短期入所生活介護や通所介護の稼働が減少した。

人件費は、職員の処遇改善により前年比101.2%となった。

事業費及び事務費は、物価高騰の影響により契約単価・備品等の仕入れ価格が上昇したが、電力料金の契約見直しにより、前年比98.5%と経費の減となった。

当該年度は、昨年同様に国・県・町より、感染症補助金や物価高騰支援補助金の給付や電力料金等へ政府系補助金が支給、令和5年度の事業活動上の当期活動増減差額（利益）は、前年比326%と大きく改善となった。

法人内の会務等は、法人ガバナンスの下、経営会議・法人会議を定期開催、理事担当業務については、法令遵守・組織統治、財務管理、人事労務管理、リスク管理、人材教育研修管理、地域公益活動管理、介護サービス管理の進捗管理を実施した。

また、法人内部監査による業務の改善や職員アンケートなど風通しの良い職場づくりに努めた。

### (2) 施設整備

当該年度は、年次計画のとおり設備等の保全に努めたが、一部、経年劣化等に伴う設備等の更新工事等が増加した。また、令和4年度より設備修繕等の積立を実施、中期的視点での大規模改修工事や設備導入に対応したい。

### (3) 法人本部事務局体制の確立

経営課題については、理事を中心とした経営会議で協議、次世代の管理者を中心とした経営企画室では、介護報酬改定・みゆき会連携等に関する検討を実施した。

大口取引業者とのサービス検討会を開催し、委託サービス等の質確保に繋げた。

外部の会計事務所（財務支援）や社会保険労務士事務所（労務支援）の業務支援により適正な管理に務めた。

### (4) 人材育成

外部団体が主宰する研修会については、感染状況を鑑み外部への派遣を実施、平行してWebリモートによる研修会に参加している。年間計画のとおり、新人職員研修会・階層別研修会（中級研修・上級研修・管理職研修）を開催、職員の資質向上に努めた。

新人プリセプター制度研修の運用により、適正な管理の下、記録等を整備など法

人・施設関係者への報告など組織全体での関与が行えることで離職者の低減に努めた。また、管理職の質向上を目的に外部講師（社会保険労務士）を招聘、昇進者対象の講習会や人事考課研修を開催した。

#### （５） 選ばれる施設・選ばれる職場

昨年に引き続き、ユースエール認定（若者支援策として離職者の低減、教育体制の整備、年次有給取得など一定の条件）やくるみん認定（女性活躍支援など）を再更新し、働きやすい職場環境づくりに努めた。また、経年の適正な労働環境づくり・働きやすい職場づくりが評価、令和５年度 厚生労働大臣 奨励賞をみずほの里受賞した。

職員の処遇改善については、適正な規則整備や介護職員だけでなく、他専門職や非常勤職員も対象とした処遇の改善を行い、労働条件の確保に努めた。

山形労働局及びハローワーク山形主催の就職セミナー・若者地域連携事業への積極的な参画やマイナビ２０２４新採就職サイト（インターンシップ含む）の利用などより新卒介護職員等の確保に至った。

また、介護職員実務者研修対象者へ奨学貸付制度による受講費用への一部貸付を実施した。

#### （６） ＩＴ化推進

会議等では Web リモート機材を活用、外部研修の受講など積極的に対応した。法人内の PC やサーバー更新に伴い、各拠点への記録ソフト・タブレット導入の整備などを実施した。

リクルート及び施設紹介を目的に動画を公開、積極的な情報発信として法人ホームページやソーシャルメディアネットワークなどを有効活用し、地域貢献・施設の生活様子などコロナ禍にあっても情報の発信に努めた。

法人インスタグラムのフォロワー数は、現在 7, 3 0 0 件を超え、引き続き山形県内の社会福祉法人で一番のフォロワー数となる。

#### （７） みゆき会グループ・関係機関との連携等

社会医療法人みゆき会との連携として河北町ドミナント（ひいなの里・紅寿の里）、みゆき会グループ連携体制（上山地区介護事業所の連携）を構築して介護サービス及び経営力の向上を目的に協議を実施した。

また、民間団体、異業種団体との連携を構築のため、介護事業者連盟の山形支部設立に参画、福祉サービス向上へ連携体制を構築した。

#### （８） 社会福祉法人としての公益的な取組みの検討

低所得者への社会福祉法人負担軽減を各拠点で実施、感染症の影響で開催できな

かった外部活動も再開した。

行政が主催する介護保険事業運営協議会や在宅医療連携推進会議、地域包括支援に関するネットワーク会議、介護保険事業連絡会等、福祉行政や地域福祉向上のため積極的に参画した。

自主事業としてコロナ禍のなか、昨年度同様に法人地域貢献委員会と拠点職員の連携により、外出支援としてミニツアー（温泉・会食など）を開催した。

また、山形県が主催する「キッズタウンやまがた2023」へ参画、福祉のお仕事理解と将来の福祉業界の人材確保のため「理学療法士ブース」を担当、約90名の県内の小学生に実地体験等を行い福祉業界の理解等に努めた。

《 みずほの里 》

1 経営基盤の安定

長期入所平均稼働率97.3%（前年96.7%）、短期入所平均稼働率85.5%（前年90.4%）、通常規模型デイ平均稼働率75.9%（前年76.5%）、認知症対応型デイ平均稼働率53.7%（前年58.3%）、グループホーム平均稼働率98.5%（前年98.8%）、居宅介護担当確保1,313件（前年1,232件）となった。

新型コロナウイルス関連ではほとんどの事業所で感染拡大があった。BCPに基づき適切に対応しながらサービス提供を継続したが、短期入所・通所の在宅部門において一時的な受入れ制限の実施や感染予防のための利用控えが稼働に影響した。

SDGsについては前年度に引き続き「古着でワクチン」や「フードバンク」に取り組み職員のSDGsに対する意識がより高まった。

適正なコスト管理については事業費16.9%（目標15%以内）、事務費10.0%（目標12%以内）で、その合計では目標数値以内に収めることができた。

ながすずの里との協力体制では会議や委員会・研修会・地域活動等を合同で行ったり人事異動を実施したりした。

令和6年度介護報酬改定への対応については随時情報収集し新規加算等算定要件を満たすための体制整備に努めた。

(1) 長期入所（地域密着型特別養護老人ホームも含む）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	2,937	3,044	2,899	3,040	3,088	2,957
平均入所者数	97.9	98.2	96.6	98.1	99.6	98.6
稼働率	97.9	98.2	96.6	98.1	99.6	98.6
平均介護度	4.04	4.04	4.04	4.1	4.08	4.1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	2,993	2,886	3,040	3,022	2,747	2,969
平均入所者数	96.5	96.2	98.1	97.5	94.7	95.8
稼働率	96.5	96.2	98.1	97.5	94.7	95.8
平均介護度	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08

- ① 延利用者数 35,622人
- ② 平均入所者数 97.3人/日
- ③ 平均稼働率 97.3%
- ④ 平均介護度 4.07（各月末時点平均）
- ⑤ 利用定員数 広域型80人、地域密着型20人

長期入所待機者数

(3月末現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
上山市	5	15	36	26	12	94
市外	0	0	3	3	2	8
合計	5	15	39	29	14	102

- ① 内訳（上山市内） 男性22人 女性72人  
 ② （上山市外） 男性0人 女性8人

(2) 短期入居

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	555	563	550	532	521	535
平均利用者数	18.5	18.2	18.3	17.2	16.8	17.8
稼働率	92.5	90.8	91.7	85.8	84.0	89.2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	496	482	555	588	337	545
平均利用者数	16.0	16.1	17.9	19.0	11.6	17.6
稼働率	80.0	80.3	89.5	94.8	58.1	87.9

- ① 延利用人数 6,259人  
 ② 平均利用者数 17.1人/日  
 ③ 平均稼働率 85.5%  
 ④ 3月末登録者数 94人  
 ⑤ 利用定員数 20人

(3) 通常規模型デイサービスまる

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	531	572	587	566	590	579
平均利用者数	21.2	21.2	22.6	21.8	21.9	22.3
稼働率	70.8	70.6	75.3	72.6	72.8	74.2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	644	629	582	562	544	654
平均利用者数	24.8	24.2	23.3	23.4	21.8	25.2
稼働率	82.6	80.6	77.6	78.1	72.5	83.8

- ① 延利用人数 7,040人
- ② 平均利用者数 22.8人/日
- ③ 平均稼働率 75.9%
- ④ 3月末登録者数 108人
- ⑤ 利用定員数 30人/日

(4) 認知症対応型デイサービスはなまる  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	193	187	185	193	150	174
平均利用者数	7.7	6.9	7.1	7.4	5.6	6.7
稼働率	64.3	57.7	59.3	61.9	46.3	55.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	167	136	127	138	156	186
平均利用者数	6.4	5.2	5.1	5.6	6.2	7.2
稼働率	53.5	43.6	42.3	47.9	52.0	59.6

- ① 延利用人数 1,992人
- ② 平均利用者数 6.4人/日
- ③ 平均稼働率 53.7%
- ④ 3月末登録者数 22人
- ⑤ 利用定員数 12人/日

(5) グループホームみずほ  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	540	553	552	558	558	529
平均利用者数	18	17.8	17.7	18	17.6	17.9
稼働率	100	99.1	98.5	100	100	98.0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	558	540	536	525	506	553
平均利用者数	18	18	17.3	16.9	17.5	17.8
稼働率	100	100	96.1	94.1	96.9	99.1

- ① 延利用人数 6,488人
- ② 平均利用者数 17.7人/日

- ③ 平均稼働率 98.5%
- ④ 平均介護度 2.53 (各月末時点平均)
- ⑤ 利用定員数 18人/2ユニット

(6) 居宅介護支援事業所みずほ

介護度別ケアプラン作成件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援1・2	5	5	6	6	7	6
要介護1	34	35	38	39	37	37
要介護2	25	29	28	28	31	31
要介護3	18	19	17	17	19	19
要介護4	7	8	7	8	8	8
要介護5	4	5	5	5	4	4
みなし	0	1	1	1	2	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1・2	7	8	10	10	10	11
要介護1	37	38	35	38	41	42
要介護2	32	34	35	35	33	33
要介護3	18	19	19	19	19	19
要介護4	10	8	7	8	9	8
要介護5	5	5	5	6	6	6
みなし	2	2	3	2	1	2

- ① 介護保険認定確保延人数 1,220人
- ② 介護予防認定確保延人数 93人

要介護認定調査件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在宅	3	3	2	4	3	4
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	6	5	11	5	7	8

- ① 年間調査合計61件

2 施設整備

建物・設備の修繕・更新等については当初の計画通り特殊浴槽および火災通報装置、低床ベッド(10台)を更新した。また、破損個所の修繕では正面玄関ポーチ屋根天井、冷却塔給水配管、排煙窓等について随時実施した。

### 3 人材育成

課題取り組みについては法人課題取り組み発表会に参加し、課題取り組みの発表から研究発表となるよう取り組み方やまとめ方のスキルアップに努めた。

法人主催の階層別研修においてコミュニケーションに関する講義を受講し、全職員の共通理解のもとコミュニケーションを重要視した職場作りに努めた。

新人職員育成のプリセプター制度においてはプリセプターだけでなく上司や事業所職員も協力しながら新人育成に取り組んだが、さらに法人の巡回指導者も関与することで早期に課題発見・解決ができより充実したものとなった。

法人職員の介護福祉士資格取得に向けたサポートとして、前年度に引き続き日建学院山形校の介護実務者研修スクーリングをみずほの里・ひいなの里を会場に職員が講師となり開催した。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

陽だまり広場において陽だまり活動（ミニ行事）を定期的で開催し、利用者や職員の楽しみを創出した。また、コロナ感染拡大時においてはBCPをもとに他クラスター・他事業所からの応援体制を構築し全職員が一致団結して対応した。

各委員会で入居者・利用者の状況に合った介護サービスの提供について協議し効果的なケアマネジメントに取り組むと同時に、カンファレンスへの入居者・家族の出席を再開しより入居者・家族の意向が反映されやすいよう取り組んだ。

入所部門に眠りスキャンを増設したことにより特に夜間の入居者の状況が把握でき、適切なタイミング介護に入ることができることで入居者・職員の負担軽減につながった。

### 5 IT化推進

介護ロボットの継続的な導入として山形県の補助金を活用し眠りスキャン5台を増設（合計15台）した。また、広報委員会を中心にホームページ・SNSを活用し動画も配信するなど広報活動の充実を図った。

### 6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

上山市におけるみゆき会グループの連携強化を目的に定期的で開催される連携協議に参加し、介護サービスの質の向上・新規利用者獲得・介護人材の獲得・人材育成・生産性向上等における協力体制の構築について継続的に協議した。

上山市の委託を受け、家族介護教室や陽だまりミーティングを開催した。陽だまりミーティングは高齢者を対象に南町・長清水・東・本庄・金生の各地区公民館において地区役員の皆様、民生委員・児童委員の皆様の協力のもと実施した。

また、上山市社会福祉協議会や市内他法人との連携ですこやか運動教室参加者の

送迎を行う移動支援に協力したほか、ハローワークの依頼により施設見学会を開催するなど関係各機関との連携強化に努めた。

## 7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

職員を派遣した取り組みについては、出前講座をミュージックケアや栄養講座を中心に4回実施したほか、牧野地区用水路清掃・資源回収に職員を派遣し協力した。また、山形県認知症介護実践者研修等に講師として、山形第九中学校の依頼により職業人講話に職業人として職員を派遣した。

施設内での取り組みについては、実習生や職場体験、学生ボランティア等を随時受け入れた。実習生は東北文教大学・山辺高校・米沢栄養大学から、職場体験は宮川中学校から受け入れた。また、上山市の協力依頼により施設入居者向けに施設内にマイナンバーカード申請出張窓口を開設し入居者のマイナンバーカード取得と上山市のマイナンバーカード取得率アップに協力した。

その他、高齢者の外出支援を目的に上山市社会福祉協議会やボランティアの協力を得てミニツアーを開催した。また、市民向けに介護サービスの情報提供としてみずほ・ながすずだよりを年2回発行し全戸回覧した。

防災の取り組みについては防災訓練に地域住民代表の方に参加（コロナ感染予防のためこの度は見学のみ）いただき災害時の協力体制を確認した。

社会福祉法人の利用者負担軽減事業を継続して実施した。

## 8 その他

### (1) みずほの里 施設整備等

月 日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
4月6日（木）	正面玄関ポーチ屋根天井修繕	羽陽建設(株)	792,000 円
5月31日（水）	電気錠入替工事	(有)ロック	155,100 円
6月19日（月）	特浴ロベリア更新（含ストレッチャー・担架）	岡崎医療(株)	6,330,500 円
6月19日（月）	冷却塔給水配管修繕工事	(株)朝日工業社	242,000 円
8月2日（水）	排煙窓部品交換工事	羽陽建設(株)	242,000 円
11月21日（火）	火災通報装置更新工事	山形ニッタン(株)	998,800 円

### (2) みずほの里 諸行事

月 日	行 事 名	会 場	備 考
4月18日（火）	不在者投票	みずほの里	18名
4月29日（土）	牧野地区用水路清掃	牧野地区	職員7名参加
5月13日（土）	職業人講話	山形九中	デイ機能訓練指導員

6月7日(水) 21日(水)	新型コロナワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
6月22日(木)	陽だまりミーティング	南町地区公民館	上山市委託事業
7月2日(日)	マイナンバーカード出張窓口開設	みずほの里	市役所職員・施設生活相談員
7月3日(月)	合同慰霊祭(特養・ユニット・GH)	みずほの里仏間	上山仏教協和会様
7月4日(火)	出前講座	金生地区公民館	ミュージックケア
7月4日(火)	キャリアスタートウィーク(～6日)	みずほの里	宮川中2年生2名
7月5日(水)	新型コロナワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
7月11日(火)	施設見学会	みずほの里	ハローワーク主催
8月2日(火)	ミニ夏祭り	みずほの里	事業所毎実施
8月10日(木)	高校生ボランティア受入れ(～11日)	みずほの里	2名
8月17日(木)	東北文教大生介護実習受入れ(～9/22)	みずほの里	2名
8月28日(月)	山辺高校生介護実習受入れ(～9/8)	みずほの里	2名
8月30日(水)	防災訓練(日中想定)	みずほの里	入居者・利用者・職員
9月4日(月)	米沢栄養大生実習受入れ(～9/8)	みずほの里	2名
9月5日(火)	芋煮会	みずほの里	施設敷地内
9月16日(土)	かかし祭り展示(～9/24)	短期入所・通所	利用者・職員製作
9月19日(火)	敬老会(特養・ユニット・GH)	みずほの里・GH	施設内行事
10月5日(木)	宮川中学校運動会見学	宮川中学校	グループホーム入居者
10月14日(土)	牧野地区子ども会資源回収参加	みずほの里	職員
10月18日(水)	陽だまりミーティング	長清水地区公民館	上山市委託事業
10月19日(木)	防災訓練(日中想定)	グループホーム	入居者・職員
10月20日(金)	車イス贈呈式	みずほの里	山形パナソニック様より1台
10月31日(火)	陽だまりミーティング	東地区公民館	上山市委託事業
11月7日(火)	ミニツアー(地域貢献事業)	大石田町方面	地域高齢者・職員
11月8日(水)	陽だまりミーティング	本庄地区公民館	上山市委託事業
11月23日(木)	牧野地区様より手打ちそば提供	牧野地区公民館	入居者・利用者昼食として
11月24日(金)	村山地区特養備品調達訓練	みずほの里	電話連絡訓練
11月29日(水)	新型コロナワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
12月7日(木)	出前講座	久保手公民館	ミュージックケア・栄養講座
12月13日(水)	新型コロナワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
12月15日(金)	クリスマス会	みずほの里	事業所毎実施
1月10日(水)	新型コロナワクチン接種	陽だまりの広場	入居者・職員
2月13日(火)	陽だまりミーティング	金生地区公民館	上山市委託事業
2月14日(水)	出前講座	まじやれ	ミュージックケア
2月20日(火)	出前講座	本庄地区公民館	ミュージックケア
3月1日(金)	家族介護教室	保健センター	上山市委託事業

(3) アクシデント状況

報告書数 1,339件 (内ヒヤリハット632件)

骨折事故等 9件

(右大腿骨転子部骨折 左大腿骨転子部骨折 左大腿骨頸部骨折

左第8肋骨骨折 左第11肋骨骨折 左足二箇所骨折

第1腰椎圧迫骨折(2件) 第3腰椎圧迫骨折)

(4) 苦情対応

苦情件数 8件

(説明不足3件 職員の接遇に関する事3件 サービス内容に関する事1件

その他1件)

(5) 車両事故

事故件数 5件 (内、人身事故 0件)

(利用者宅敷地内の植込みに接触1件 利用者宅敷地内の置石に接触2件

サイドミラーが電柱に接触1件 後進時バックドアが

## 《ひいなの里》

### 1 経営基盤の安定

長期入所平均稼働率97.6%（前年94.7%）、短期入所平均稼働率88.7%（前年90.3%）、通常規模型デイ平均稼働率90.5%（前年79.1%）、認知症対応型デイ平均稼働率64.6%（前年65.3%）、小多機平均稼働率91.3%（前年76.7%）、居宅介護担当確保延べ人数1,167件（前年1,131件）となった。

長期入所は待機者数の減少が地域全体の課題となり、ひいなの里も一時実質的に約20名まで減少した。年度途中より待機者の全員調査に取り組み、適切で速やかな入退所に努め空床期間も短縮され目標稼働率を達成した。

短期入所は目標に届かず前年度より稼働率が下がったものの柔軟な利用調整等により68名の新規利用者を受入れ、高い稼働率が維持できた。

通常規模型デイは、回復するコロナ禍後の利用ニーズに応える形で稼働が上がり目標を大きく上回った。

認知症対応型デイは運営の難しさから近隣の事業所の休止があり、紅寿の里より5名の利用者の移行を受け入れた。半日利用の柔軟な受入れや学習療法を軸に据えた認知症進行予防のケアに取り組み、目標稼働率には届かなかったが前年度同様の稼働率を維持できた。また、寒河江市内に認知症対応型デイがなくなり、地域密着型の事業所ながら令和6年度より寒河江市の指定を受けるに至った。

小多機も長期入所の入退所業務の改善により利用者の維持・確保につながり、目標が達成できた。さらに訪問ニーズの把握に努め、令和5年12月より要介護利用者の訪問件数が毎月200件を超えるようになった。

居宅は目標件数には届かなかったが、年度途中の体制の変更等乗り越えて前年度を上回る利用者を担当した。

経費節減等については、主に電気料金が下がったことにより水道光熱費・燃料費が前年度より約600万円の削減となった。

(1) 長期入所  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	813	824	818	883	892	870
平均入所者数	27.1	26.6	27.3	28.5	28.8	29.0
稼働率	93.4	91.7	94.0	98.2	99.2	100
平均介護度	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	895	868	896	887	834	882
平均入所者数	28.9	28.9	28.9	28.6	28.8	28.5
稼働率	99.6	99.8	99.7	98.7	99.2	98.1
平均介護度	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1

- ① 延利用者数 10,362人
- ② 平均入所者数 28.3人/日
- ③ 平均稼働率 97.6%
- ④ 平均介護度 4.08
- ⑤ 利用定員数 29人

長期入所待機者数

(3月末現在)

要支援等	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
0	0	1	15	11	5	32

- ① 内訳 男性 11人 女性 21人

(2) 短期入所  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	581	601	613	564	500	537
平均利用者数	19.4	19.4	20.4	18.2	16.1	17.9
稼働率	92.2	92.3	97.3	86.6	76.8	85.2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	566	537	585	566	551	597
平均利用者数	19.2	17.9	18.9	18.3	19.0	19.3
稼働率	91.6	85.2	89.9	86.9	90.5	91.7

- ① 延利用人数 6, 798人
- ② 平均利用者数 18.6人/日
- ③ 平均稼働率 88.7%
- ④ 3月末登録者数 117人
- ⑤ 利用定員数 21人

(3) 通常規模型デイサービスひいな  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	566	616	598	594	596	599
平均利用者数	22.6	22.8	23.0	22.8	22.1	23.0
稼働率	90.6	91.3	92.0	91.4	88.3	92.2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	580	578	566	534	571	589
平均利用者数	22.3	22.2	22.6	22.3	22.8	22.7
稼働率	89.2	88.9	90.6	89.0	91.4	90.6

- ① 延利用人数 6, 987人
- ② 平均利用者数 22.6人/日
- ③ 平均稼働率 90.5%
- ④ 3月末登録者数 89人
- ⑤ 利用定員数 25人/日

(4) 認知症型デイサービスひいな  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	208	231	234	240	214	149
平均利用者数	8.3	8.6	9.0	9.2	7.9	5.7
稼働率	69.3	71.3	75.0	76.9	66.0	47.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	171	179	177	177	210	205
平均利用者数	6.6	6.9	7.1	7.4	8.4	7.9
稼働率	54.8	57.4	59.0	61.5	70.0	65.7

- ① 延利用人数 2, 395人
- ② 平均利用者数 7.8人

- ③ 平均稼働率 64.6%
- ④ 3月末登録者数 21人
- ⑤ 利用定員数 12人/日

(5) 小多機 hina  
利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
通い延人数	425	394	394	408	461	489
訪問延回数	180	155	186	182	164	211
宿泊延人数	168	160	151	157	221	217
登録延人数	773	777	750	771	831	851
稼働率	88.9	86.4	86.2	85.8	92.4	97.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通い延人数	469	451	450	434	448	484
訪問延回数	206	220	220	231	256	269
宿泊延人数	211	218	203	184	176	203
登録延人数	814	805	838	823	809	845
稼働率	90.5	92.5	93.2	91.5	96.2	94.0

- ① 通い延人数 5,307人 訪問延回数 2,480人 宿泊延人数 2,269人
- ② 平均登録数 26.5人/日
- ③ 平均稼働率 91.3%
- ④ 平均介護度 2.04
- ⑤ 利用登録者数 29人 (3月末登録者数27人)

(6) 居宅介護支援事業所ひいな  
介護度別ケアプラン作成件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援1・2	4	4	3	2	2	2
要介護1	29	29	30	27	26	25
要介護2	25	24	27	27	27	24
要介護3	17	19	16	14	13	15
要介護4	17	17	16	17	16	18
要介護5	9	9	8	8	7	6
みなし	0	1	3	2	1	4
事業対象	0	1	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1・2	2	2	3	4	4	4
要介護1	27	28	25	27	27	25
要介護2	26	27	26	26	26	30
要介護3	19	18	17	15	14	17
要介護4	19	18	16	17	17	17
要介護5	5	3	4	3	3	3
みなし	2	0	4	3	4	0
事業対象	0	0	0	0	0	0

- ① 介護保険認定確保延人数 1, 131人 (みなしを含む)  
 ② 介護予防認定確保延人数 36人  
 ③ 事業対象認定確保延人数 1人

要介護認定調査件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在宅	5	5	1	2	5	5
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	6	1	2	5	5	3

- ① 年間調査合計 45件

2 施設整備

計画に基づいて厨房冷凍冷蔵庫、外壁・軒桶修理、特殊浴槽、ベッド2台、PAS (高圧気中開閉器)、火災通報装置等の更新を行った。そのほか故障により大型テレビ2台更新、厨房仕込み室業務用エアコン修理、特養 (なのはな通り) 給湯器更新を行った。

### 3 人材育成

学卒入職者 1 名と施設内異動職員 1 名を含む計 6 名に対しプリセプター制度および法人巡回指導を実施し、1 年目を順調に経過した。

専門研修は外部研修の受講を積極的に奨励し、ユニットリーダー研修修了者によりユニットケアの課題を次年度のユニット係会の活動とした。また、介護福祉士等の資格取得支援として勉強会や外部研修の活用を図り、介護福祉士に受験した職員 4 名全員が合格した。

毎日の朝礼で法人理念と行動指針の唱和に取り組み、「介護」を中心とした多職種連携の意識化につなげた。

施設内研修は映像教材を有効活用し、ミニテストにより知識の定着を図った。また、法人階層別研修会にて介護マニュアルの確認・取得に取り組み、各事業所で周知・確認して活用した。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

看取り介護において、長期入所で 6 名の退所者中 4 名を施設にて看取り、利用者・家族のニーズに応えるよう努めた。

ミュージックケアの有資格者を新たに 2 名育成し、各事業所のアクティビティに展開した。

接遇・マナー力の向上については、委員会名を「おもてなしの係会」と改称して外部研修を活用しながら施設内ポスターや目標管理に取り組んだ。

在宅部門連絡会にて在宅サービスの課題や利用者情報を共有し、適切なサービス提供に取り組んだ。さらに河北町内での介護サービスの適切なマッチングに取り組み、共同パンフレットを作成するなど紅寿の里と連携して活動した。

### 5 I T 化推進

法人ホームページのスタッフブログにて日常の入居者・利用者の生活の様子を随時広報した。

介護ソフトの有効利用として、介護業務日誌のペーパーレス化を行った。

全国老人福祉施設協議会主催の ICT 施設視察研修に職員を派遣し、次年度の介護ロボット（眠りスキャン）導入に向けて準備した。

### 6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携の推進

河北町内における介護サービス提供の充実を目的に紅寿の里とひいなの中の連携強化のため毎月連携会議を開催し、情報の共有等に取り組んだ。

町とみゆき会病院に協力を得て新型コロナウイルスワクチン接種について連携し実施した。

河北町民生児童委員協議会において、新任民生児童委員に対する認知症サポーター養成講座を担当した。また、4年ぶりに河北町家族介護者教室を受託し、2回の開催で延べ44名の参加を受けた。

## 7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

社会福祉法人の利用者負担軽減事業を3名の利用者に対して実施し、経済的支援を行った。

コロナ禍の会食懇談会に代わる地域高齢者宅訪問事業を継続し、対象者の自宅を個別に訪問し資料や防災用品を配付して地域支援とした。

出張ひいなカフェも河北町介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスBの3事業所で開催し、口腔ケアや介護保険情報、ミュージックケア等催しを行って好評を得た。

また、令和4年度から継続して町内地域食堂に施設の畑で採れた野菜を提供し、食堂の手伝いのため定期的に職員を派遣した。

地域の健康教室（計2回）に講師を派遣し、認知症や口腔ケア等についての出前講座を行った。地区の資源回収（4月、10月）にも参加した。

2名の山形県認知症介護指導者が認知症介護実践者等養成研修、介護支援専門員研修、介護労働講習・介護入門研修（介護労働安定センター受託開催）等で講師を勤めた。東北福祉大より1名、介護労働安定センターより2名、山形県福祉人材センターより1名の実習生を受け入れた。

## 8 その他

### （1） ひいな の 里 施設整備等

月 日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
4月7日（金）	厨房冷凍冷蔵庫更新	（株）アイホー	431,200円
4月14日（金）	特養（なのはな通り）ダイルーム テレビ更新	港屋電器（株）	122,950円
4月20日（木）	外壁、軒桶改修工事	升川建設（株）	319,000円
4月25日（火）	特殊浴槽更新	岡崎医療（株）	6,542,840円
4月25日（火）	厨房仕込み室業務用エアコン修理	矢萩メンテナンス	132,000円
4月27日（木）	特養（なのはな通り）ダイルーム パッケージエアコン更新	矢萩メンテナンス	910,000円
5月8日（月）	特養（なのはな通り）給湯器更新	矢萩メンテナンス	510,000円

5月24日(水)	パラマウントベッド定期入替 (2台)	岡崎医療(株)	698,500円
6月19日(月)	PAS(高圧気中開閉器)更新	東北電化工業(株)	627,000円
7月28日(金)	特養(なのはな通り)ダイルーム テレビ更新	港屋電器(株)	122,950円
11月9日(木)	研修用パソコン購入	(株)メコム	121,000円
11月22日(水)	火災通報装置、非常放送設備、自 動火災報知設備更新	山形ニッタン(株)	4,464,900円

(2) 諸行事、その他

月 日	行 事 名	会 場	備 考
4月9日(日)	要害地区資源回収	要害地区	職員2名派遣
4月20日(木)	通所型サービスB訪問	なでしこ広場(溝延)	職員3名 参加者8名
5月24日(水)	通所型サービスB訪問	実家の茶の間(西里)	職員3名 参加者10名
6月20日(火)	通所型サービスB訪問	茶の間・北星(北谷地)	職員3名 参加者7名
6/22(木)、11/24(金)	新型コロナワクチン接種	ユニット/センターホール	入居者
7月20日(木)	通所型サービスB訪問	なでしこ広場(溝延)	職員3名 参加者9名
8月8日(火)	認知症サポーター養成講座	河北町役場	新任河北町民生児童委員
8月9日(水)	夏祭り(長期入所)	ユニット	その他、事業所ごと開催
8月23日(水)	通所型サービスB訪問	実家の茶の間(西里)	職員3名 参加者10名
9月19日(火)	通所型サービスB訪問	茶の間・北星(北谷地)	職員3名 参加者10名
9月29日(金)	総合防災訓練	ひいなりの里/小多機	通報・避難・消火
10月19日(木)	通所型サービスB訪問	なでしこ広場(溝延)	職員3名 参加者9名
10月22日(日)	要害地区資源回収	要害地区	職員2名派遣
10月27日(金)	敬老会(長期入所)	地域交流ホール	その他、事業所ごと開催
10月28日(土)	出前講座	荒町北区公民館	認知症
11月15日(木)	通所型サービスB訪問	実家の茶の間(西里)	職員3名 参加者7名
12月19日(火)	通所型サービスB訪問	茶の間・北星(北谷地)	職員3名 参加者12名
11/6(月)~11/10(金)	一人暮らし高齢者宅訪問事業	独居等高齢者宅	資料・防災用品提供
12月15日(金)	夜間想定総合防災訓練	ひいなりの里/小多機	通報・避難・消火
1月18日(木)	通所型サービスB訪問	なでしこ広場(溝延)	職員4名 参加者9名
2月9日(金)	河北町家族介護教室(1回目)	地域交流ホール	参加者28名
2月25日(日)	河北町家族介護教室(2回目)	地域交流ホール	参加者16名
3月3日(日)	出前講座	要害地区公民館	口腔ケア
3月22日(金)	通所型サービスB訪問	茶の間・北星(北谷地・ 西里の合同開催)	職員3名 参加者12名

(3) アクシデント状況

報告数 712件 (内、アクシデント226件 ヒヤリハット486件)

骨折事故等 2件 (左手首<sup>とうこつ</sup>橈骨骨折、左<sup>とうこつえんいたんこっせつ</sup>橈骨遠位端骨折)

(4) 苦情対応

苦情件数 3件 (職員の接遇及びサービス内容に関する事2件、その他1件)

(5) 車両事故

事故件数 16件 (内、人身事故 0件)

《 ながすずの里 》

1 経営基盤の安定

特養平均稼働率97.9%(前年98.5%)、GH平均稼働率96.8%(前年98.2%)、小規模多機能平均登録稼働率92.5%(前年94.5%)、居宅介護担当確保1,003件(前年1,077件)となった。特養は退去後短期間での新規の受け入れを実施し収入目標を達成することができた。グループホームは、上期高稼働を維持し目標値を超えていたが、1月以降入院者及び退所者数が増回し、収入目標を達成することができなかった。小規模多機能は前年度に引き続き入院、逝去及び転居等による登録解除が多く、目標の登録者数には届かなかったが、新規登録もほぼ同数あり前年度比で収益は増加した。居宅介護支援は、介護保険施設への入居及び逝去による契約終了が多く目標を達成することができなかった。

経費節減、及び適正なコスト管理について、12ヵ月累計で事業費12.8%(目標13%以内)、事務費9.6%(目標10%以内)となり、経費節減に努めたことや、物価・エネルギー価格高騰における政府等の補助制度の影響もあり、目標を達成することができた。

ながすずの里サテライト化3年目の今年度は、昨年引き続き在宅部門の連携の強化(みずほの里在宅部門含む)等を図り、拠点全体としては3期連続で収入予算、収支差額において目標達成を達成することができた。引き続きみずほの里、ながすずの里間での連携を強化し経営基盤の安定を図っていく。

(2) 地域密着型特別養護老人ホーム

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	866	885	855	899	876	845
平均入所者数	28.9	28.5	28.5	29.0	28.3	28.2
稼働率	99.5	98.4	98.3	100	97.4	97.1
平均介護度	4.43	4.41	4.40	4.38	4.38	4.38
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	895	849	879	868	802	875
平均入所者数	28.9	28.3	28.4	28.0	27.7	28.2
稼働率	99.6	97.6	97.8	96.6	95.4	97.3
平均介護度	4.38	4.43	4.45	4.45	4.45	4.43

- ⑥ 延利用者数 10,394人
- ⑦ 平均入所者数 28.4人/日
- ⑧ 平均稼働率 97.9%
- ⑨ 平均介護度 4.41 (各月末時点平均)
- ⑩ 利用定員数 29床

入所待機者数

(3月末現在)

	未認定等	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
上山市	0	6	7	28	8	7	56

内 訳：男性 14人 女性 42人 ※要介護3以上 43名

(2) グループホーム

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延人数	499	547	540	558	556	530
平均入所者数	16.6	17.6	18.0	18.0	17.9	17.7
稼働率	92.4	98.0	100	100	99.6	98.1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延人数	558	533	557	513	472	514
平均入所者数	18.0	17.8	17.9	16.5	16.3	16.6
稼働率	100	98.7	99.8	91.9	91.4	92.1

- ⑥ 延利用人数 6,377人
- ⑦ 平均利用者数 17.4人/日
- ⑧ 平均稼働率 96.6%
- ⑨ 平均介護度 2.84
- ⑩ 利用定員数 18人/2棟

(3) 小規模多機能

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延通い人数	416	449	441	380	362	427
延訪問回数	221	239	212	215	217	266
延宿泊人数	236	241	226	224	191	221
延登録者数	820	806	810	788	774	820
稼働率	94.3	89.7	93.1	87.7	86.1	94.3
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延通い人数	456	445	475	471	436	445
延訪問回数	298	311	312	299	232	240
延宿泊人数	251	252	270	275	249	244
延登録者数	826	810	837	864	818	838
稼働率	91.9	93.1	93.1	96.1	97.3	93.2

- ① 延通い人数 5, 203人 延訪問回数 3, 062人 延宿泊人数 2, 880人
- ② 平均登録者数 26.8人/日
- ③ 平均稼働率 92.5%
- ④ 平均介護度 1.88
- ⑤ 利用登録者数 27人(3月末現在登録者数27人)

(4) 居宅介護支援事業所

介護度別ケアプラン作成件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援1・2	8	9	11	11	12	13
要介護1	25	25	26	27	29	29
要介護2	24	26	26	23	26	28
要介護3	18	17	18	19	16	18
要介護4	12	12	10	10	11	10
要介護5	4	4	3	3	2	2
みなし	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1・2	13	13	13	12	12	11
要介護1	30	29	30	30	32	30
要介護2	26	25	27	24	23	23
要介護3	16	16	15	17	16	18
要介護4	10	10	10	10	10	9
要介護5	2	2	2	2	3	3
みなし	0	0	0	0	0	0

③ 介護保険認定確保延人数 1, 003人

④ 介護予防認定確保延人数 138人

要介護認定調査件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在宅	5	3	6	1	6	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	3	4	4	4	6	6

② 年間調査合50件

2 施設整備

保守契約に基づき機器等の点検を実施、6月にLPガス設備の法定交換及び特殊建築

物定期調査の実施。その他、給水給湯等の修繕実施している。

### 3 人材育成

資格取得については、認知症介護実践者研修1名、認知症介護リーダー研修1名、喀痰吸引等研修3名、キャラバン・メイト養成研修2名、介護福祉士4名、が資格を取得している。また、プリセプター制度及び法人巡回指導による人材育成を実施した。外部研修について、集合研修・オンライン研修へ積極的に参加している。また、内部研修についても課題取組発表、接遇に関するグループワーク等前年度よりも回数を多く実施しており、職員のスキルアップを図っている。中間管理職のマネジメント力向上について、法人主催の昇格者研修に対象者が参加しマネジメントの向上に努めた。

### 4 選ばれる施設・選ばれる職場

みずほの里との連携によるサービスの質の向上について、長期入所及びグループホームの入所申し込み（待機者）の一元管理を行ない生産性の向上及び、申し込み者の負担軽減を図ることができた。また、エビデンスに基づいた介護が求められるなかで、科学的介護情報システム（LIFE）への取り組みを継続して各事業所実施し科学的介護の推進及びLIFEに関わる加算の取得を行なうことができた。

接遇向上に向けた取り組みについて、接遇委員会を中心に個人及び事業所の接遇目標を設定、接遇優良者の表彰、施設内外の研修に参加し接遇力の向上に努めた。

### 5 IT化推進

感染症対策による面会時間の制限を行なっている状況下において、SNSを有効活用し日々の暮らしの様子を発信し、利用者様のご家族へ生活の様子を伝えることができた。

介護記録端末の有効活用について、アクシデントリポート集計について、記録端末ソフトを活用し実施。また、施設全体のスケジュール管理等記録ソフトを活用することにより業務効率を上げることができた。また、睡眠見守りセンサーを活用し対象者の睡眠状況を把握し身体拘束時間の削減に取り組むことができた。

### 6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

他拠点との交流や介護部門連絡会等など専門性を持った連携を実施した。在宅部門連絡会をみずほの里と合同開催することにより事業所の空き状況や近隣事業所、利用者様の情報共有を図ることができた。また、関係機関・行政との関係構築や連携を実施した。

みゆき会グループの連携について、連携体制を構築し定期的な情報交換等の会議の場を設けることで、サービスの質の向上等に努めることができた。

## 7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

社会福祉法人の公益的取組みとして、利用者負担軽減事業を1名の利用者に対して実施した。地域の行事等も徐々に再開されており、長清水地区の資源回収など地域の活動に参加することができた。みずほの里で依頼を受けた地域の出前講座や陽だまりミーティング（市の委託事業）に職員を派遣し地域貢献活動を行なうことができた。

前年度に続き、ながすずの里の畑で収穫された野菜を上山市内のこども食堂に提供し、地域食堂の食材として使用していただいた。

かみのやまカフェ（認知症カフェ）について、今年度は毎月計12回開催、みずほの里職員からの協力を得てさまざまなテーマでカフェを開催することができた。

SDGsの取り組みについて「古着 de ワクチン」や「フードバンク」などの活動に取り組み職員及び地域住民への啓発活動に努めた。

## 8 その他

### (1) ながすずの里 施設整備等

月 日	工事名等	請 負 業 者	金額（税込）
6月22日(木)	特殊建物検査	秦伊藤設計事務所	136,400円
6月29日(木)	ペーパーライザーメンテナンス、部品交換	山形酸素(株)	426,800円
7月18日(火)	軽量ドア点検、部品交換	羽陽建設(株)	115,500円
7月31日(月)	厨房ミキサー・ブレンダー更新	日本調理機器(株)	120,835円
9月8日(金)	清流東・医務室系統空調機修繕	矢萩メンテナンス	108,350円
9月15日(金)	清流東・医務室系統空調機修繕	矢萩メンテナンス	95,700円
9月20日(火)	清流東・医務室系統空調機修繕	矢萩メンテナンス	308,000円
2月27日(火)	厨房製氷機修繕	ホシザキ東北(株)	98,670円
3月21日(木)	GH浅葱ダイルーム洗面台修繕	矢萩メンテナンス	132,000円

### (2) ながすずの里 諸行事

月 日	行 事 名	会 場	備 考
6月27日(火)	防災訓練	ながすずの里	総合訓練（日中想定）
6月28日(水)	新型コロナワクチン接種6回目	会議室他	他7/12実施
7月11日(火)	合同慰霊祭	交流ホール	
8月～9月	納涼祭（長期・GH・小多機能）	ながすずの里	事業所ごとに実施
9月15日(金)	敬老会	ながすずの里	同日芋煮会開催
11月 7日(火)	防災訓練	ながすずの里	総合訓練（夜間想定）
12月 6日(水)	新型コロナワクチン接種7回目	会議室他	他12/20実施

(3) アクシデント状況

報告書数 690件 (内ヒヤリハット441件)

骨折事故等 2件

(右脛骨骨幹部骨折1件、右大腿骨転子部骨折1件)

(4) 苦情対応

苦情件数 2件 (サービスの内容に関すること等)

(5) 車両事故

事故件数 2件 (内、人身事故 0件)